



茨城県の経済情勢報告

令和5年4月25日
財務省関東財務局水戸財務事務所


本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」









項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっているが、個人消費、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	一部に供給面での制約がみられるものの、持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	4年度は減少見込みとなっている	
企業収益	4年度は減益見込みとなっている	4年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

家電販売額、ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回っている。また、乗用車の新車登録届出台数は、小型車が前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車が前年を上回っており、全体として前年を上回っている。このほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直している。

このように個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 物価上昇による消費者マインドへの影響もあり、買い上げ点数が減っていることで、客単価は前年割れしている。一方、客数は回復傾向にあることから、売上は前年比微増といったところ。(百貨店・スーパー)
- 来店回数を減らすためにまとめ買いをするようなお客様が見受けられなくなり、客数の回復に寄与している。商品別では、飲料水、お菓子、菓子パンなど、外出する際に購入するイメージのある商品が伸びている。(コンビニエンスストア)
- 多くの学校や企業が卒業式や入社式などがリアルで実施されるようになったことから、スーツや着物、袴などが好調。また、足下では旅行需要の回復などから、カバンや靴などの外出に使うものが売れ始めている。(ショッピングセンター)
- 消費者マインドは落ちていないが、メーカーからの新車供給が回復したことに伴う新車引き渡しに精一杯で、新車受注・中古車販売にマンパワーをさけないため、受注・販売機会を取りこぼしている。(自動車販売)
- コロナ禍の落ち着きや全国旅行支援の効果により高単価で販売ができています。また、2月後半からはアジア系の個人予約やインバウンドサイトを経由する団体予約が増加傾向にある。(宿泊)
- 3月からは企業による団体利用も少し出てきている。また、町内会など10~20名の地域の集まりも、ちらほら見受けられるようになった。今後、GW期間中の観光客も見込まれることから、基本的には上向いていくと見込まれる。(飲食サービス)

■ 生産活動 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

生産を業種別にみると、生産用機械や化学などが減少しており、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 中国・ロシアを除く地域の需要は引き続き旺盛となっている。当面は生産能力の増強ではなく、工場間での生産調整(余力がある工場に生産を一部移管)により対応することから、県内工場の生産量は高水準を維持するものの、前期比でみるとマイナスとなる。(生産用機械)
- 物価上昇による買い控え、これまでの自動車の生産抑制の影響を背景に、包装材や自動車部品に使用される材料の生産が過剰となったことから、1-3月期は生産調整を行った。(化学)
- 半導体不足の影響は継続しているものの、自動車メーカーの生産計画も回復基調にあることから、部品製造を担っている当社の生産量は堅調に推移している。なお、半導体は先端分野ではなく、古いタイプの不足が顕著。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は概ね横ばいで推移しているが、新規求人数は増加しており、雇用保険受給者実人員は減少しているなど、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 募集をかけているが、年を追うごとに採用が難しくなっている。社会全体の少子高齢化だけでなく、交通インフラ整備を背景に周辺に工場が進出していることで、人材確保の競争が激しくなったことも理由として挙げられる。(製造業)
- 今の宿泊業においては人手不足が一番の問題。コロナ禍に入り雇用人数を一旦減らしてしまい、ここにきて改めて集めようとしているが既にほかに就職しており採用できない。また、世間の賃金が上がっている中で、それに競争できるだけのホテル・旅館が少ない。(業界団体)

■ 設備投資 「4年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 4年度の設備投資計画は、製造業では前年比12.8%の減少見込み、非製造業では同21.4%の増加見込みとなっており、全産業では同1.9%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「4年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 4年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比88.2%の減益見込み、非製造業では同2.3%の減益見込みとなっており、全体では同51.4%の減益見込みとなっている。

- 仕入先から値上げ交渉を受ける際、人件費・鋼材費等の値上げの根拠となる正確な数値が上がってこないのがネックではあるが、現状ではそのまま受け入れている。これに伴って、順次売価の値上げを行い、価格転嫁を進めている。(製造業)
- 飲食業界は、ここ30年間「いかに価格を抑えるか」の競争下にあり、消費者は「安くて旨い」が当たり前の認識になっている。食材の仕入価格は平均して1.5~1.6倍程度上がっているが、値上げに踏み切るのは難しい。(飲食サービス)

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、前四半期(4年10~12月期)に比べ、「下降」超に転じている。先行きについては、5年4~6月期も「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家が前年を上回っているものの、分譲住宅及び持家が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- コロナ禍以降、住宅展示場に来るお客様は大きく減った。現在、感染状況は落ち着いているものの、結局マスク着用が日常化しているように、生活様式はまだ変わっておらず、来場者数は回復していない。(住宅建設)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

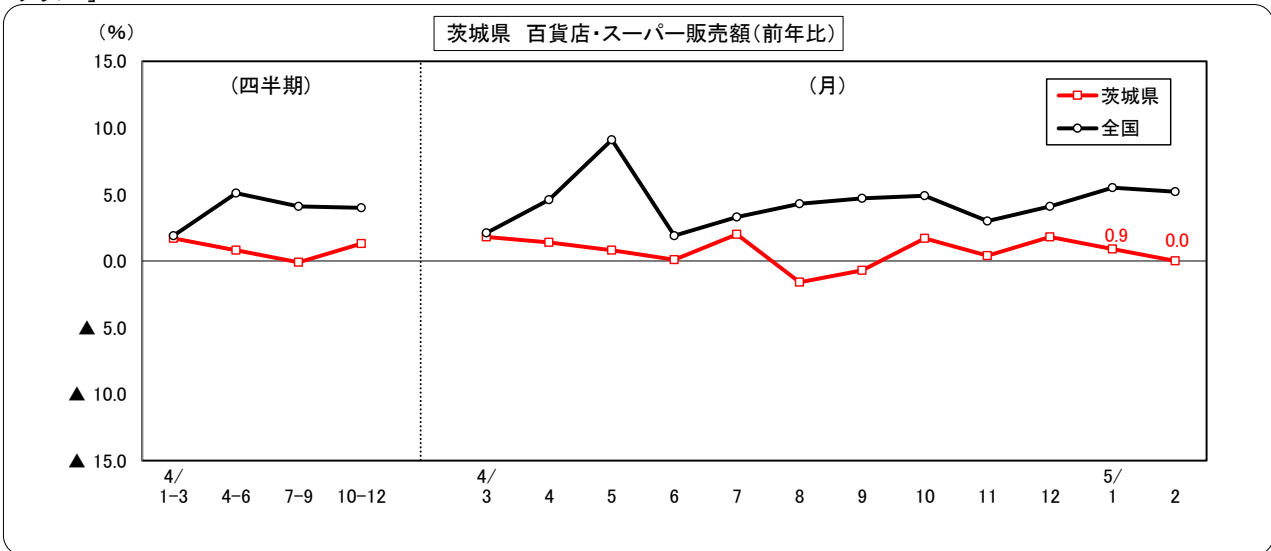
- 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。

茨城県の経済情勢報告

資料編

1. 個人消費

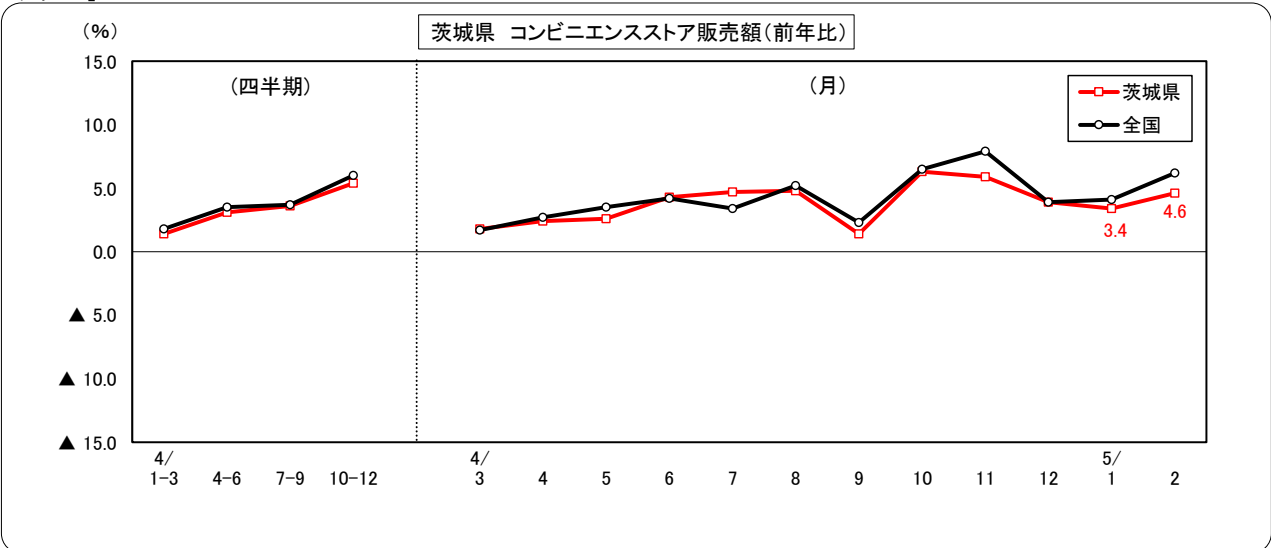
「グラフ1」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

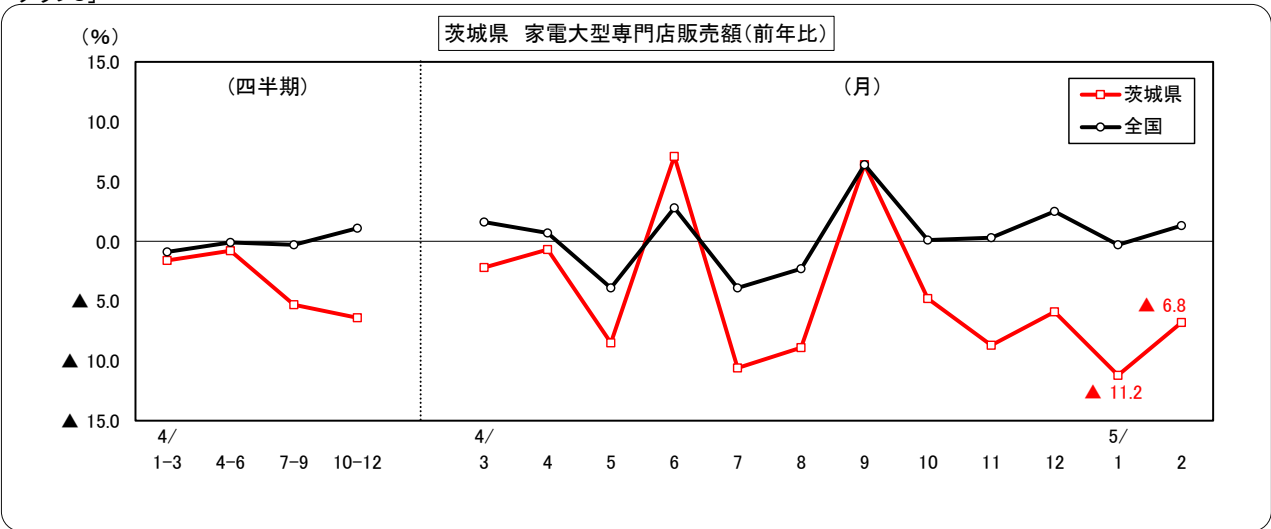
「グラフ2」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

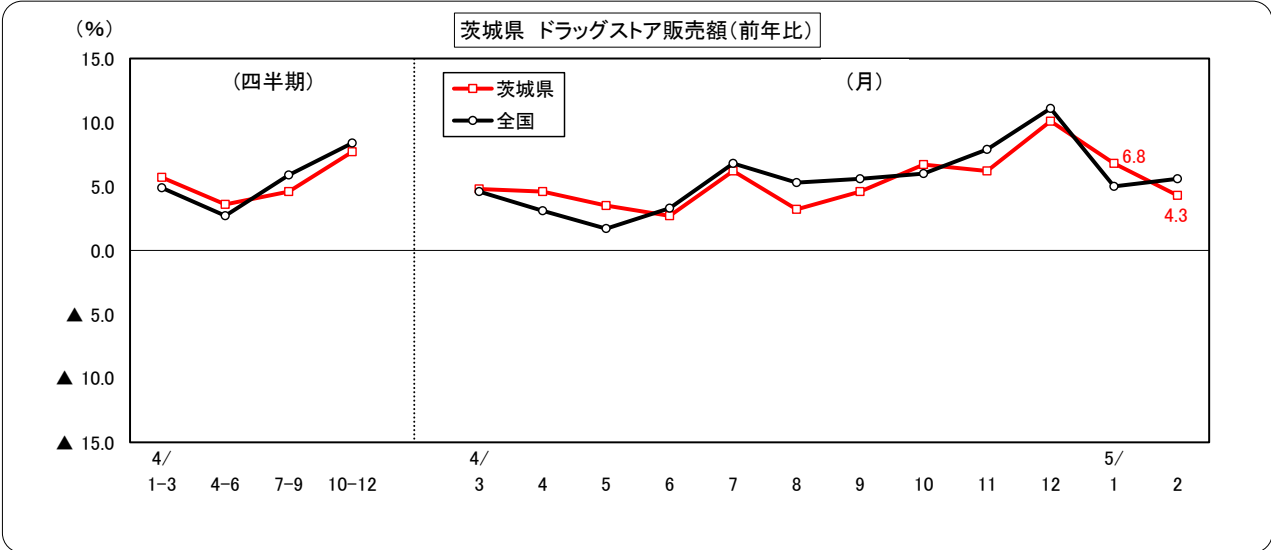
「グラフ3」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

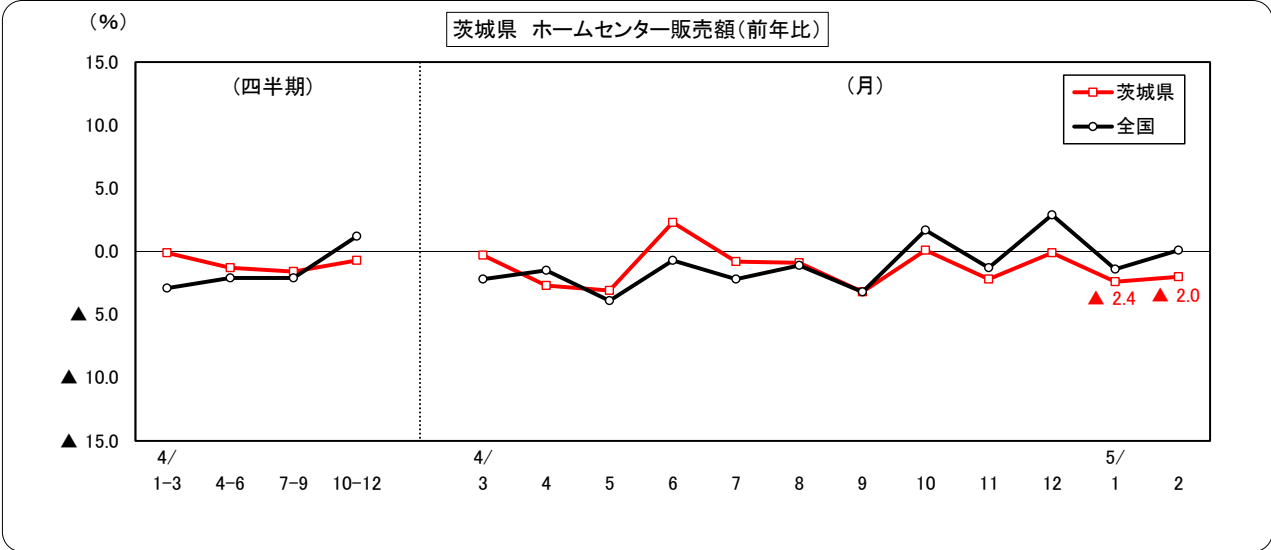
「グラフ4」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

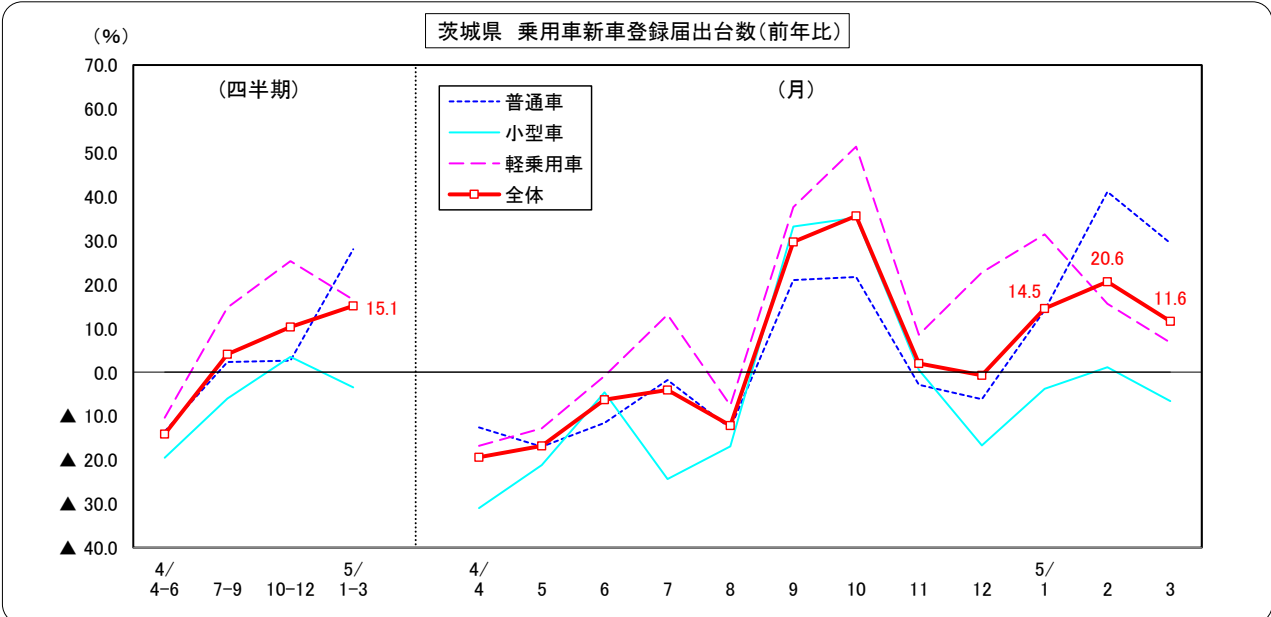
「グラフ5」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

「グラフ6」

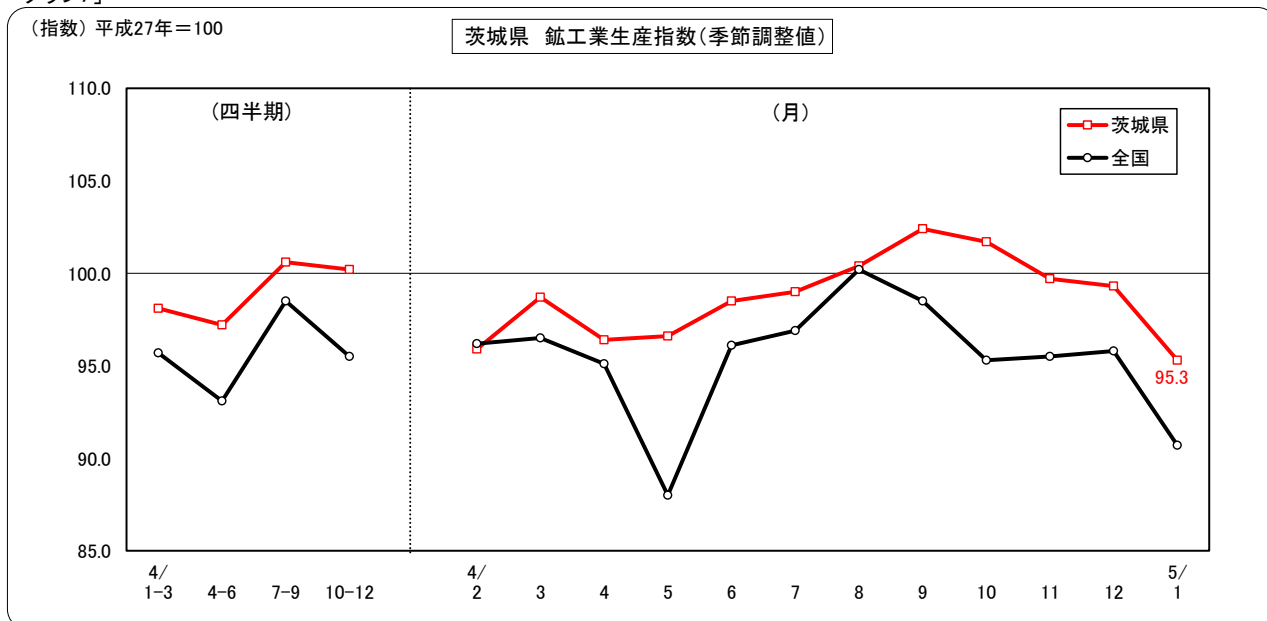


(注)乗用車新車登録届出台数は、ナンバーベースで普通車・小型車・軽乗用車の合計。

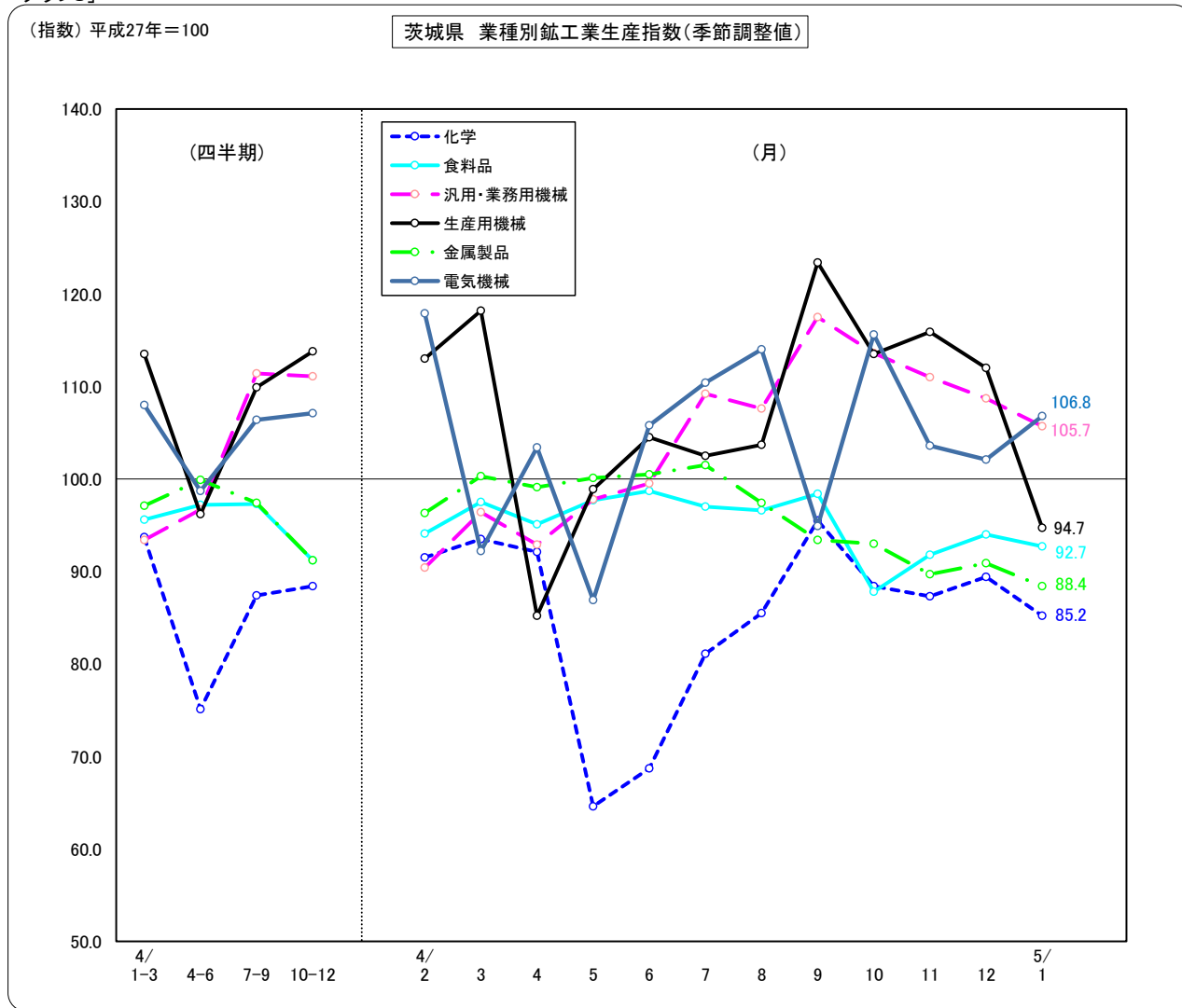
(資料:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生産活動

「グラフ7」

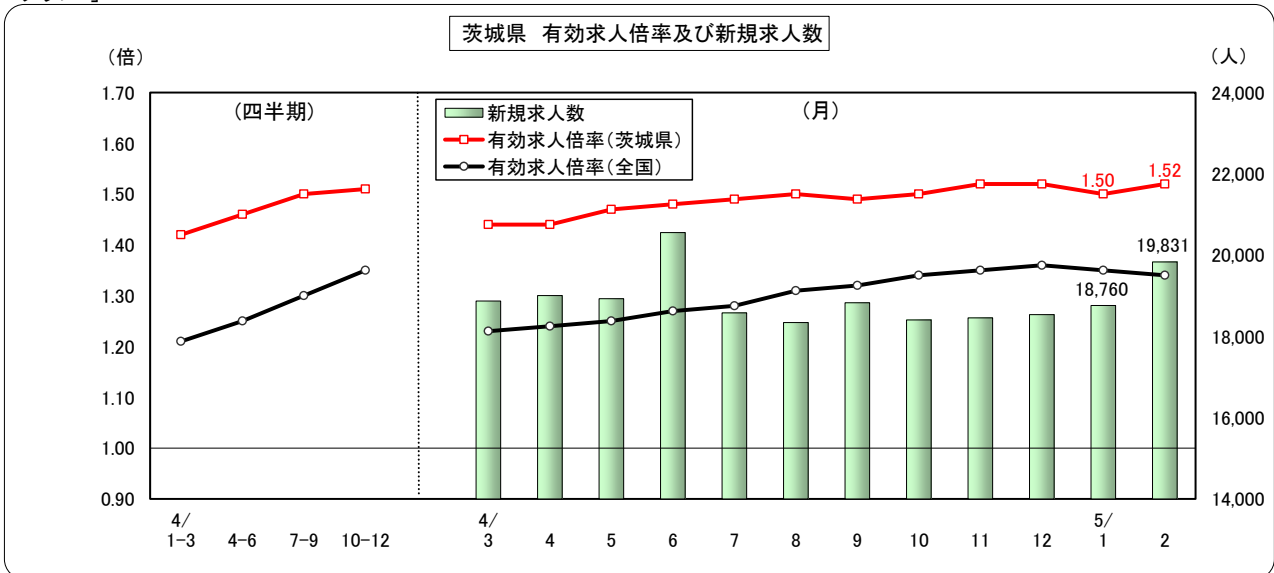


「グラフ8」



3. 雇用情勢

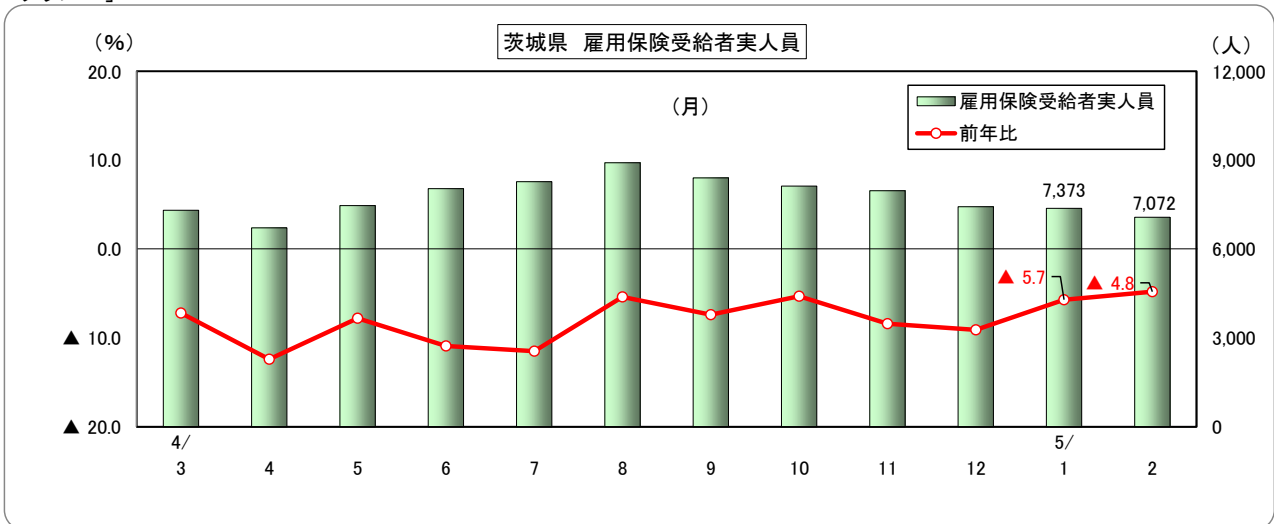
「グラフ9」



(注)パートタイムを含む季節調整値。

(資料:厚生労働省、茨城労働局)

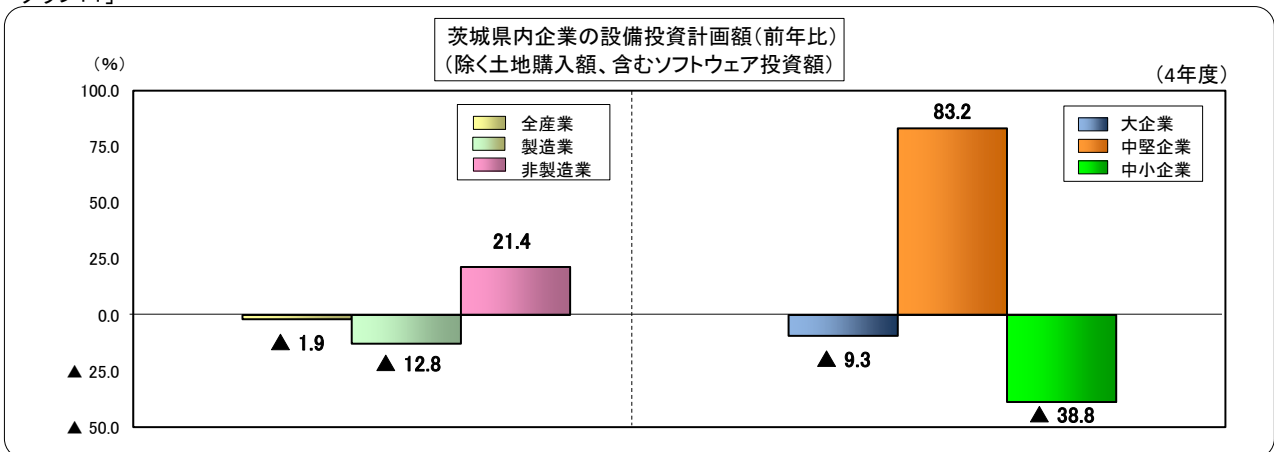
「グラフ10」



(資料:茨城労働局)

4. 設備投資

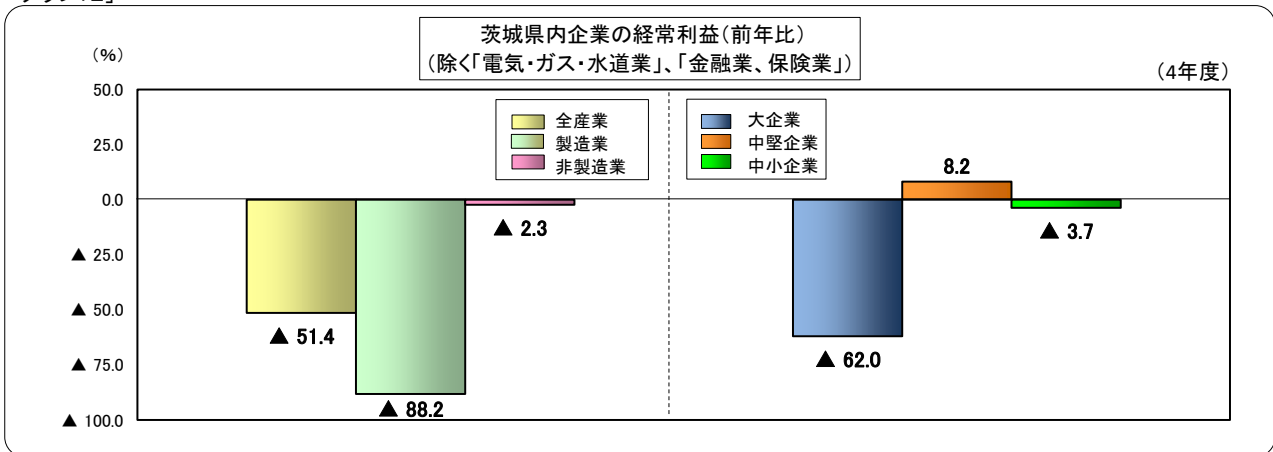
「グラフ11」



(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査(令和5年1-3月期調査)」)

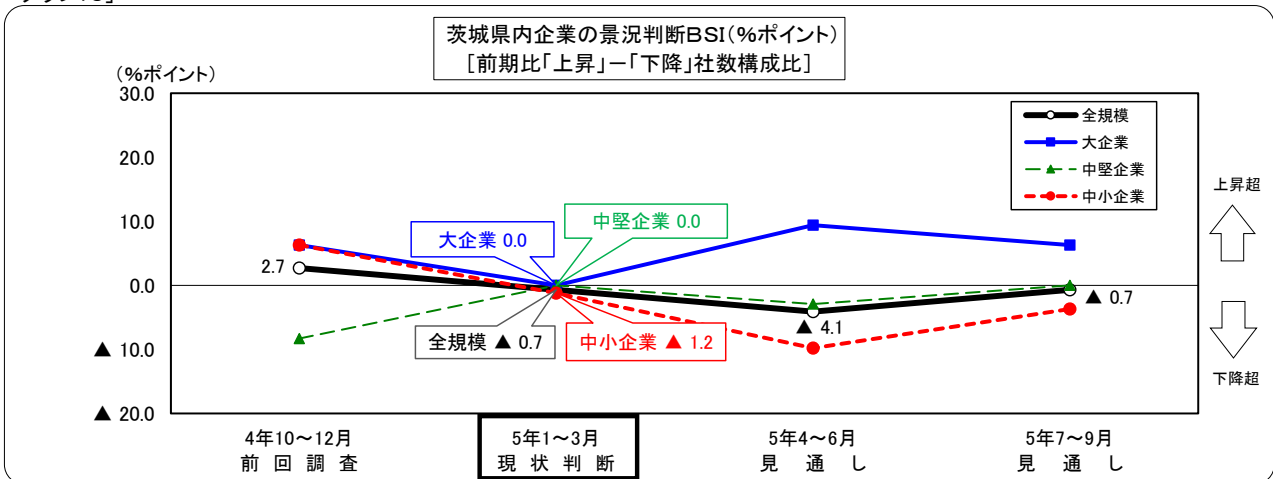
5. 企業収益

「グラフ12」



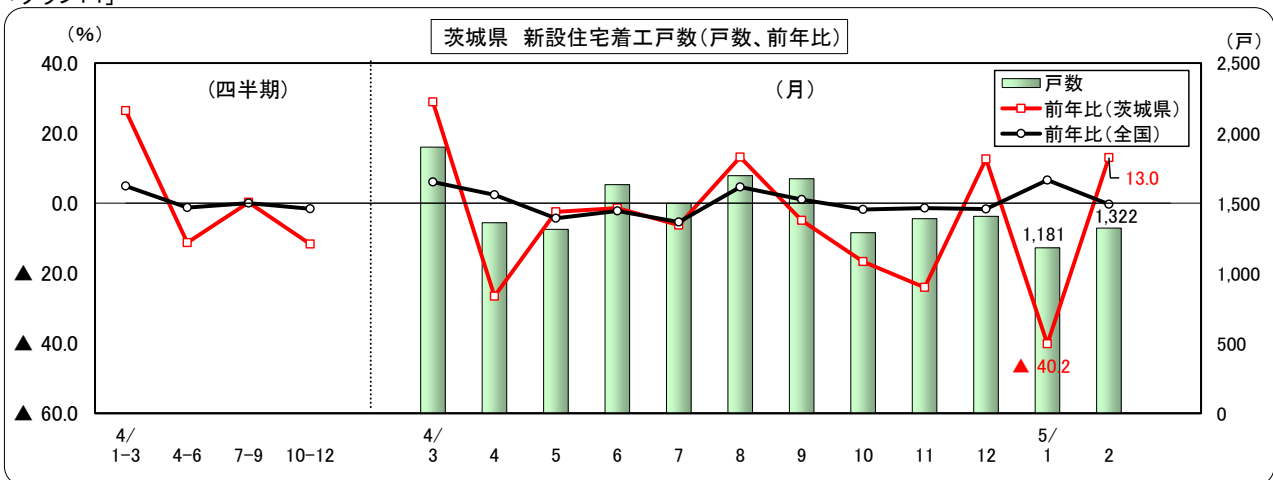
6. 景況感

「グラフ13」

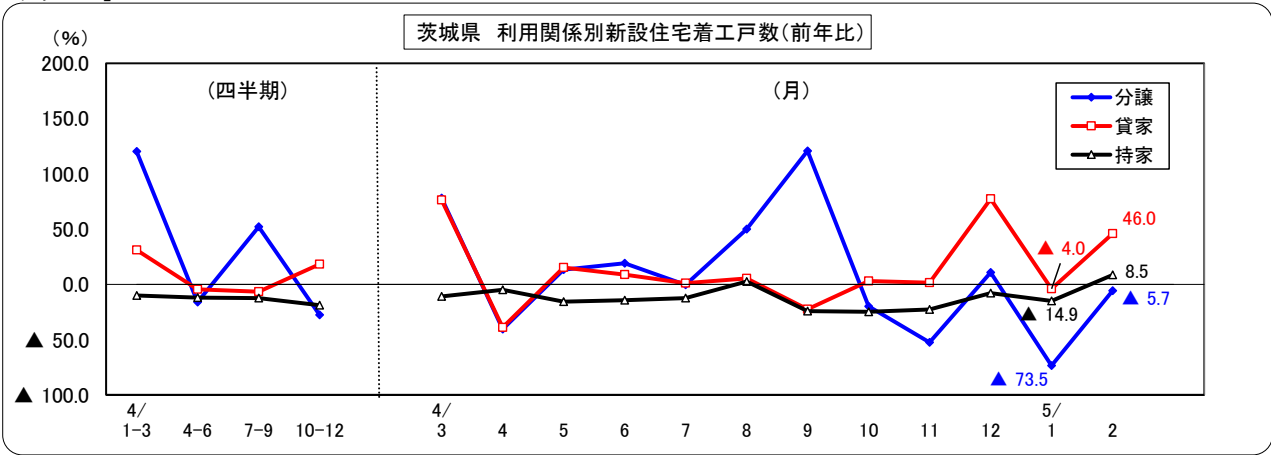


7. 住宅建設

「グラフ14」

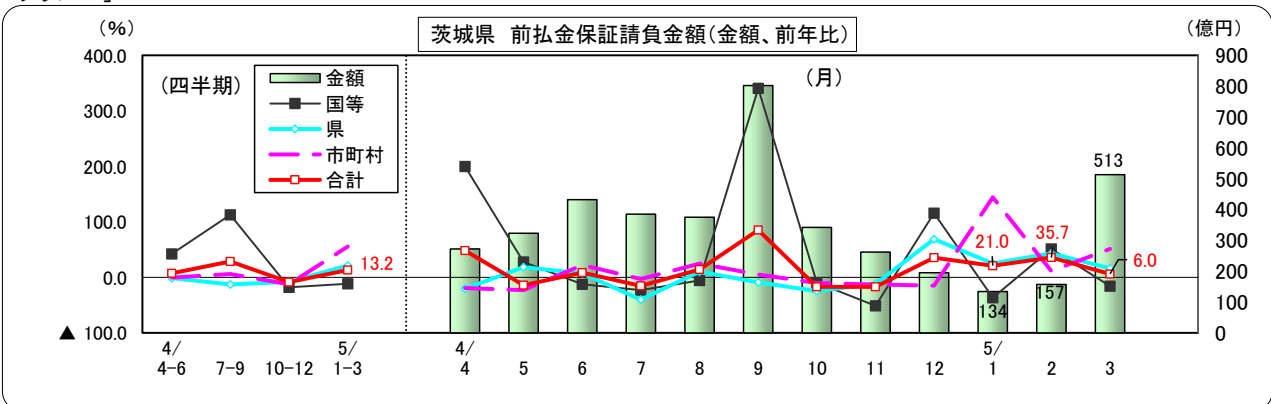


「グラフ15」



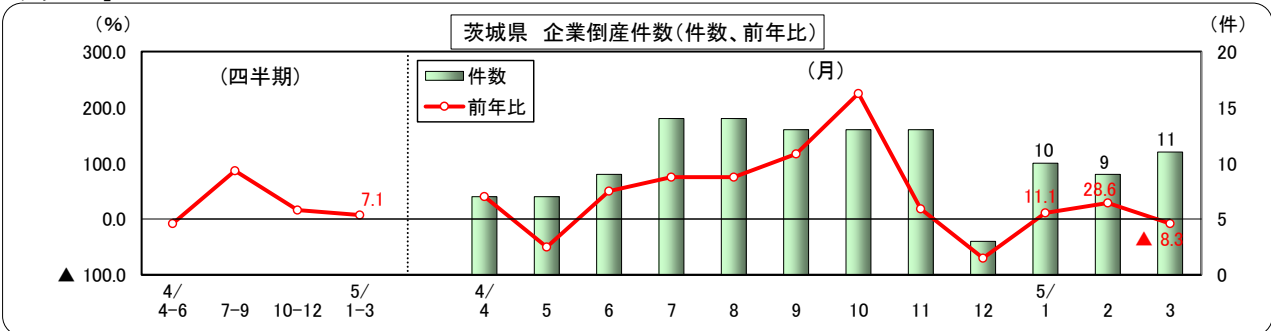
8. 公共事業

「グラフ16」



9. 企業倒産

「グラフ17」



「グラフ18」

